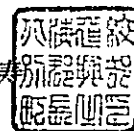


平成20年10月10日

国土交通省道路局長 様

北海道興部町長 礒

一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

標記の件について、別紙のとおり提出いたしますので、宜しくお取り計らい願います。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

北海道興部町

北海道の道路整備を振り返ると、札幌市や旭川市など道内の大都市と地方を如何に早く結ぶかに力点が置かれた中で、今日まで整備が進められてきたように思われる。しかし、国内における北海道の存在意義から考えた時、農林水産業いわゆる一次産業から生み出される生産物や二次加工された商品、その為の生産資材・飼料・肥料・燃料などの物流は既に北海道内にとどまるものではなく、釧路港や苫小牧港を通じて他府県は元より海外への物流が重要な時代となっている。アメリカの金融破たんが世界に及び日本が貿易赤字国に転落しつつある今、食糧の生産において自給率の向上は言うまでもないが、安定した食糧生産を行うためには生産するための資材の輸入や移入は不可欠であり、船で港へ、また港からトラックで生産地へと言う物流のあり方を今一度考え、どのように北海道の一次産業生産を向上させるかと言う視点からも、人の流れ中心の道路行政は見直すべきと考える。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

様式 ②

北海道興部町

○現状

当町は、国道2路線（238、239号）が存在するが、鉄路廃止後のバス・マイカーによる人の移動や地域の豊富な生産物（農畜産物・水産物等）の物流には不可欠であり、地域の暮らしに密着するとともに地域経済を支える重要な幹線道路となっている。

現在、町内国道において狭小橋梁の拡幅改良が実施されており、より良い道路環境の整備が進んではいるが、今後も冬期間の交通安全対策や情報提供をはじめ、安心・安全な道路交通網の確保に向けた整備が必要となっている。

また、救急医療に係る高次医療機関への患者搬送時間の短縮を図るため、道路の高速ネットワーク化が望まれている。

○課題

- ・高速ネットワーク化の推進
- ・冬期間における交通安全対策の推進
- ・鉄路廃止箇所の跨線橋の改修整備
- ・R239道路情報ボックスの整備（情報提供）

人口の減少と高齢化が進む中で、住民生活の維持・向上を図るために道路が果たす役割は大きなものとなっている。地方では日常生活における買物や通学をはじめ、専門医療機関への通院、さらに高度な医療を受けるためには都市部にある総合病院などへの通院が必要となっているが、その移動交通手段はバス、自家用車であるため、“高齢者でも安心・安全に走行できる道路”、“高速化による移動時間の短縮”など地域の実情に応じた道路整備が求められる。

また、情報通信技術が進展する中で、道路情報等をリアルタイムに提供できる施設整備により、防災、交通事故の防止が望まれる。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道興部町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な交通安全対策	歩道のフラット化	地方では少子高齢化が進む中で学校の統廃合が相次ぎ、市街地以外の生徒は自家用車やバスでの通学が大半を占めている現状である。また、高齢者の移動もバスや自家用車がほとんどで市街地以外を歩行する人はごく僅かな状況になっている。一方、近年の農作業機械の大型化により、道路走行上、危険な状況が増えている状況を鑑み、農業地帯の道路においては歩道部分をフラット化して補助車線あるいは譲り車線とすることにより、農作業機械や高齢者が安心して走行(運転)できる道路環境が生まれる。	
良好な景観の形成	排水溝の解消	北海道の道路は、排雪作業を考慮し農地より高く造られ、その間には素掘りの排水溝が設置されている。水田地帯・畑作地帯であれば用水路兼用なども考えられるが、酪農地帯では牧草地が道路に接しているため、普段はほとんど水も流れていない状況にある。また、大雨が降ってもこの排水溝が機能しているところは僅かで、多くはただ水が溜まるだけの排水溝のように思える。この排水溝を埋めることで農家にとっても牧草の刈り取りが楽になるとともに、道路管理者が行う草刈作業面積の減少が図られる。また、景観的にも背の高い雑草が繁茂する現状から大きく改善されると思われる。 前述した歩道改良と組み合わせることにより、冬期間の除雪作業などの管理作業費用の削減も期待できる。	

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

北海道興部町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
総合的な交通安全対策	舗装路面の改良	温暖化が進み、冬期間の降雪量が少なくなり、路面が圧雪凍結状態から少し融けた凍結路面やブラックアイスバーン現象の増加が予測されるため、日中に融けた雪や氷の水分が浸透するようなアスファルトの技術的な改良が進むことにより、交通事故の減少が図られる。	
国際競争力の強化のための交通サービスの向上	物流を考えた道路網の整備	北海道の将来は、一次産業から産出される生産物の移送、資材や燃料などの輸送路の確保が重要であり、特に本州や諸外国とつながる港と生産地を短時間で安全に結ぶ道路網の整備は必要不可欠である。物流を担う大型トラックやトレーラー、中でも冷蔵車の走行時間の短縮が鮮度の良し悪しに大きく影響することからも、大型トラック等が走行しやすい道路網の整備と道路改良は食糧基地北海道の要となる施策と考える。	